

「本年度就職活動を終えた学生を対象とする意識調査」

調査結果概要

調査期間

2021年9月～12月

調査対象者（無記名回答）

- ① 15大学（一橋大学、東京大学、東京工業大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、神戸大学、九州大学、慶應義塾大学、東京理科大学、早稲田大学、同志社大学、立命館大学、関西大学、関西学院大学）周辺に設置されている「SHIRUCAFE®」に登録している2,013名（紙・インターネット併用）
- ② インターネット調査1,064名

有効回答数

3,053名（有効回答率99.2%）

<回答者の属性>

① 性別

	男性	女性	答えたくない
人数	1,348名	1,650名	55名
割合	44.2%	54.0%	1.8%

② 大学設置主体

	国立	公立	私立
人数	1,058名	118名	1,877名
割合	34.7%	3.9%	61.5%

③ 学年

	大学4年生	大学院2年生
人数	2,693名	360名
割合	88.2%	11.8%

④ 学部・学科系統

	人文科学系	社会科学系	理学系	工学系	農学系	その他
人数	794名	769名	409名	420名	87名	574名
割合	26.0%	25.2%	13.4%	13.8%	2.8%	18.8%

⑤ 就職先

	民間企業 に就職	国家公務員 に就職	地方公務員 に就職	進学	その他
人数	2,044名	118名	137名	323名	431名
割合	67.0%	3.9%	4.5%	10.6%	14.1%

⑥ 国家公務員への志望状況

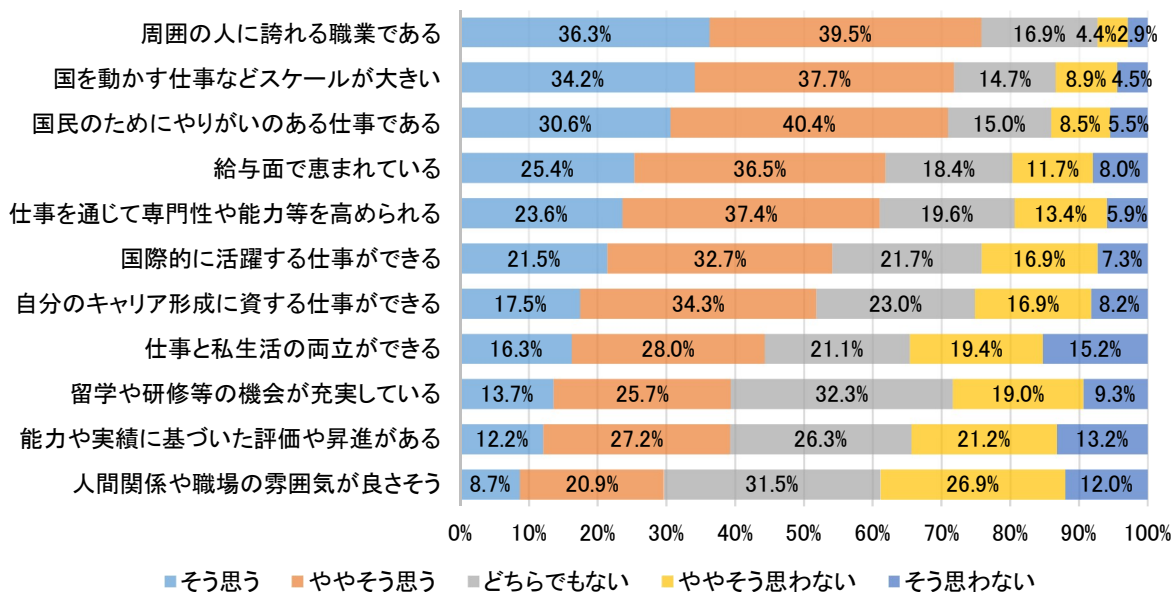
国家公務員への志望状況	人数	割合
国家公務員採用試験に合格して国家公務員に内定した	144名	4.7%
国家公務員採用試験に合格して採用を希望したが、内定を得られなかった	48名	1.6%
国家公務員採用試験に合格したが、採用を希望せず他の就職先を選択した	68名	2.2%
国家公務員採用試験を申込したが、試験の途中で棄権した	65名	2.1%
国家公務員採用試験の勉強をしていたが、やめた	134名	4.4%
国家公務員に関心はあったが、やめた	618名	20.2%
国家公務員にはもともと関心がなかった	1,976名	64.7%

<調査項目>

問1 国家公務員の仕事や働き方に対するイメージ（5件法※） n=3,053

※ 各項目について、「そう思う」、「ややそう思う」、「どちらでもない」、「ややそう思わない」、「そう思わない」までの5段階で当てはまるものを回答（問2も同じ）

「周囲の人に誇れる職業である」が75.8%、「国を動かす仕事などスケールが大きい」が71.9%、「国民のためにやりがいの仕事である」が71.0%と肯定的な回答の割合が特に高い。

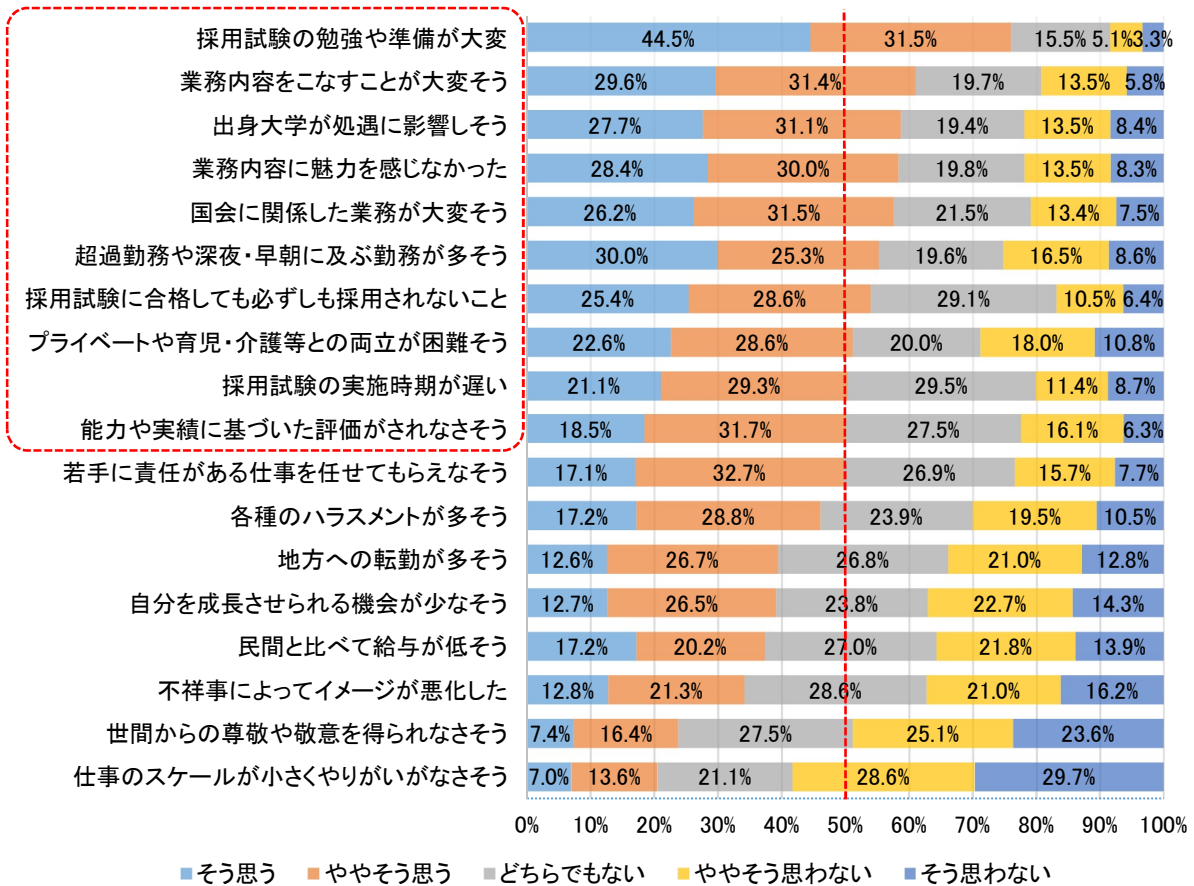


問2 職業として国家公務員を選ばなかった理由（5件法）

n=2,801※

※ 本質問については、2022年4月以降の就職先として国家公務員を選択していない人、かつ、本問の全ての項目に回答している人を集計している。

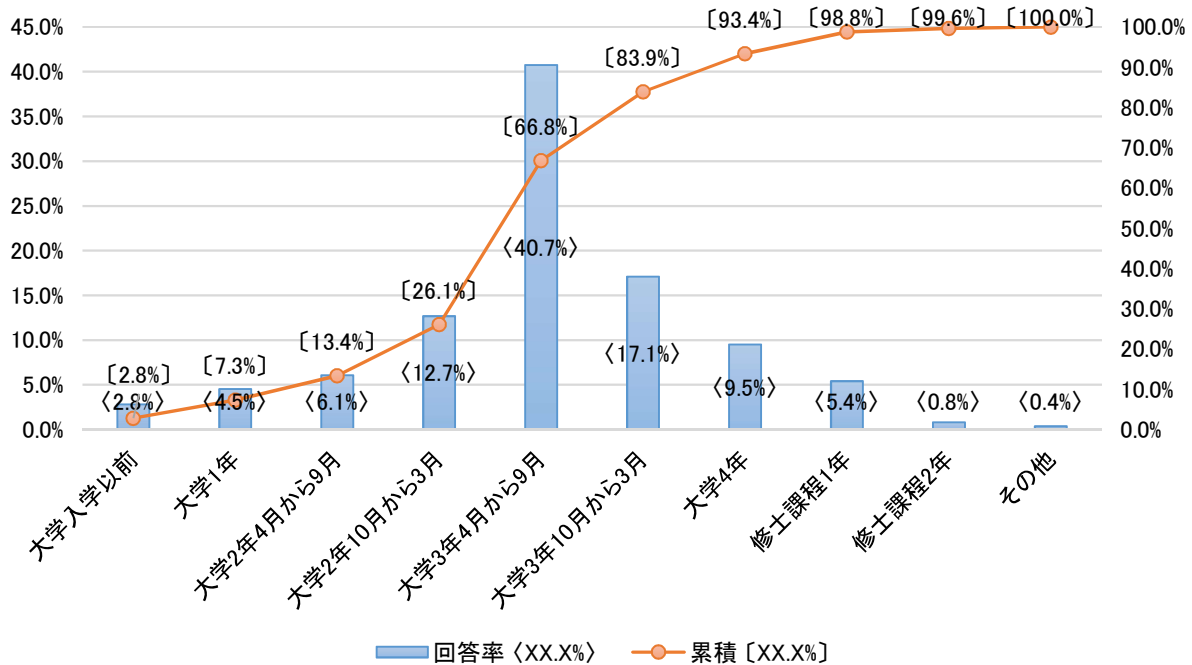
職業として国家公務員を選ばなかった理由として、「採用試験の勉強や準備が大変」を挙げる者が最多（76.0%）で、続いて「業務内容をこなすことが大変そう」、「業務内容に魅力を感じなかった」を挙げる者が多い。



※ 職業として国家公務員を選ばなかった理由として、「そう思う」「ややそう思う」と回答した割合の合計が過半数を超える項目を赤破線で囲っている。

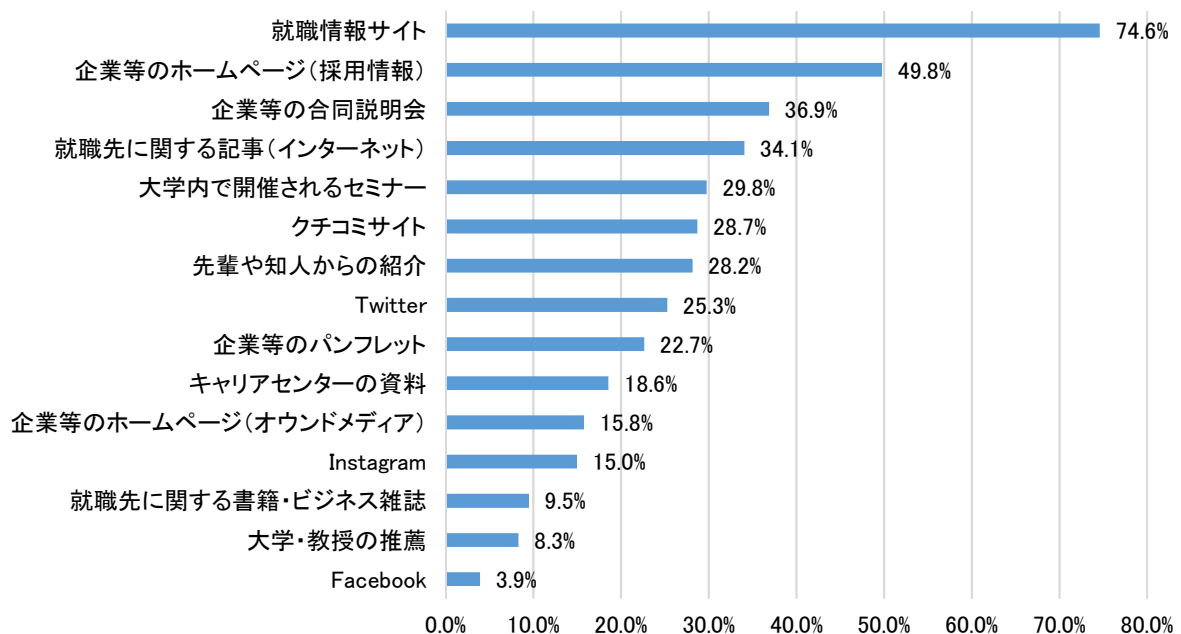
問3 進路選択に向けた情報収集を始めた時期 n=3,053

進路選択に向けた情報収集は、「大学3年4月から9月」に開始する者が最も多く、この時期までに66.8%の者が情報収集を開始。



問4 進路選択に用いた情報収集手段（よく用いた方法）（複数回答） n=3,053

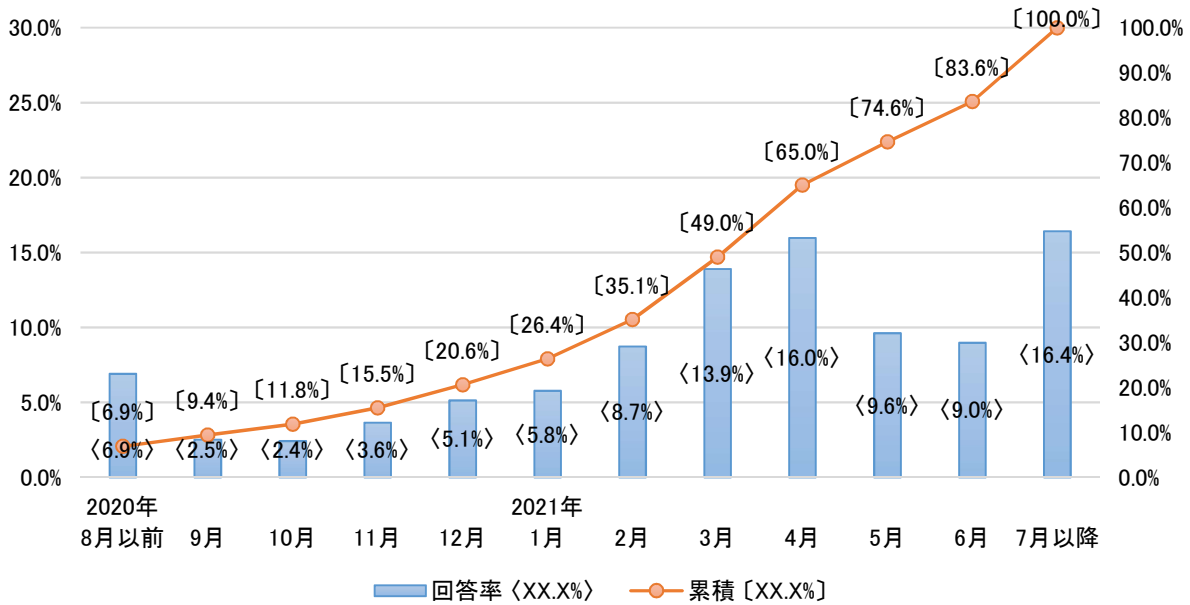
進路選択に用いた情報収集手段は、「就職情報サイト」が最も多く、「企業等のホームページ（採用情報）」、「企業等の合同説明会」、「大学内で開催されるセミナー」などの求人側が発する情報だけでなく、「就職先に関する記事（インターネット）」も活用されている。



問5 最初に内々定を得た時期 n=2,028※

※ 本質問については、無回答を除いて集計している。

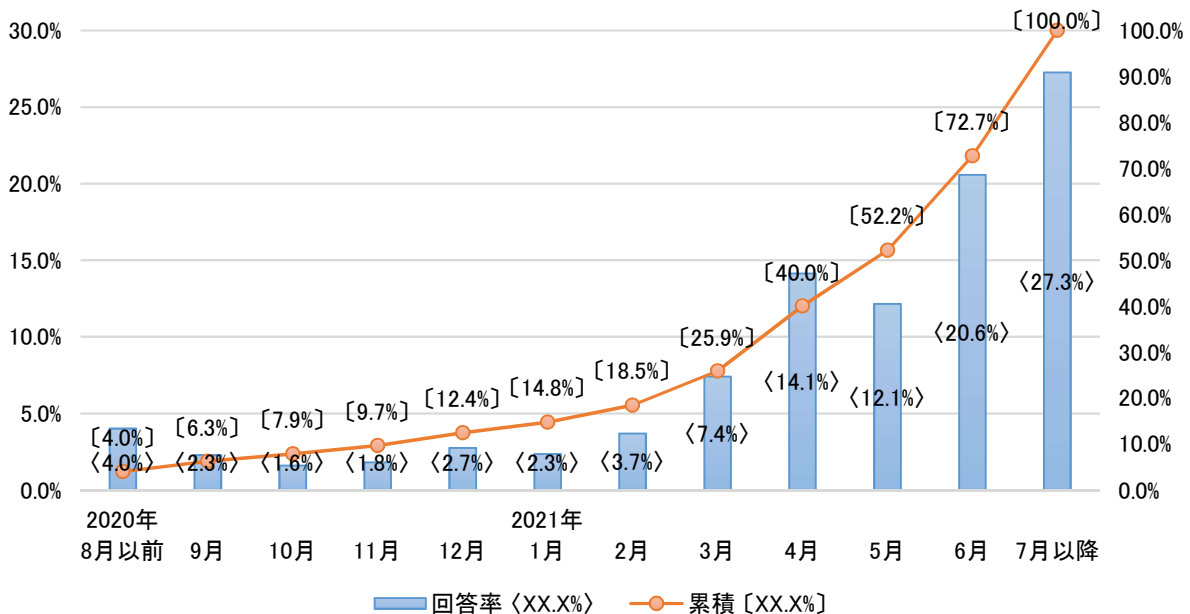
最初に内々定を得た時期は、「3月」、「4月」が多く、「4月」までに65.0%の者が内々定を有している状況。



問6 2022年4月以降の第一志望先を決定した時期 n=2,766※

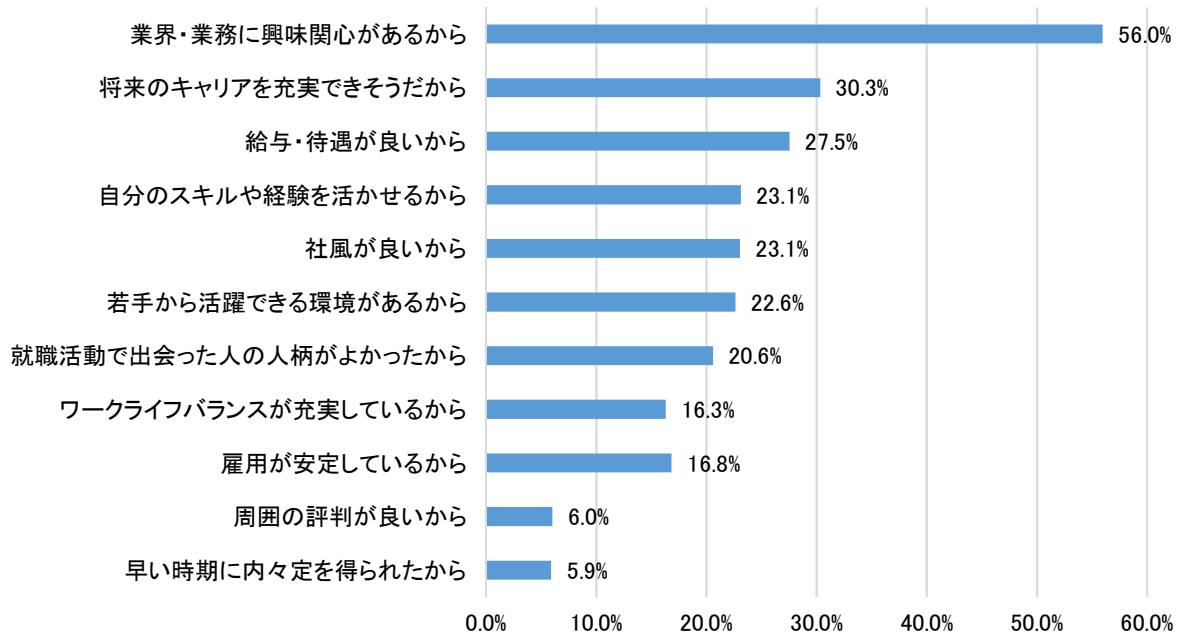
※ 本質問については、無回答を除いて集計している。

2022年4月以降の就職先を決定した時期は、「4月」が多く、「5月」までに52.2%が第一志望先を決定している状況。



問7 就職先を決定した決め手（決め手となった理由上位三つを選択） n=3,053

就職先を決定した決め手としては、「業界・業務に興味関心があるから」が56.0%と最多。



以 上